

写真で振り返る 今昔物語

その49

梶鼻周辺の変化

昭和20年代から現在まで



昭和30年代



昭和20年代

町教育委員会所蔵



現在

今回は、昭和20年代と昭和30年代に撮影された鶴殿地区の梶鼻周辺の写真を紹介します。これは、どちらの写真も現在の県道35号線付近で、左側には、紀勢西線のレールが見えます。さらに、この道の先には、加持鼻王子権現跡の大岩があり、このあたりの地名としても使用されています。

写真を見ると、どちらの写真の道路も未舗装で、道路整備が進んでいないように見えます。また、右上の写真では手前側に数軒の家があるだけで、のどかな風景が広がっている様子がうかがえます。

昭和30年代には何棟もの村営住宅が建設され、左上の写真のように家が立ち並ぶ風景となりました。

その後、旧国道42号線の整備、民家の建て替えや改修などが行われ、現在のようないまじい町並みになっていきました。

昔の風景写真を募集します

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーで紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

つむぎ

三重県広報コンクール
(町部)で特選を受賞しました



田中ちづ

「令和3年三重県広報コンクール」の審査が先日行われ、「紀伊半島大水害から10年を迎えて」の特集を掲載した「広報きほう9月号」が広報紙部門(町部)で特選に選ばれました。



特選の広報9月号

10年前の災害のとき、僕は高校生で、まなびの郷に避難したことを今でも覚えていますが、今一度今回の特集をきっかけに、家族や周りの人と話し合い、これからの防災対策につなげてもらえればと思います。

今後も、初心を忘れず、「広報きほう」が届けばみなさんに喜んでもらえるように、がんばります。

(気が付けばもうすぐ広報5年生 田中健太郎)

今月の表紙

毎年行われている相野谷中学校の駅伝大会の様子を撮影しました。当日は、地域の方や保育園児が生徒たちを応援するために拍手を送り、それに応えるように生徒たちも笑顔いっぱい、一生懸命に走っていました。



地域の方が沿道に出て応援